

第5回総会（定期総会）のご案内

東矢本駅北地区まちづくり整備協議会員 各位

東矢本駅北地区まちづくり整備協議会
会長 小野 竹一

下記により協議会第5回総会（定期総会）を開催しますので、ご参集願います。

記

- | | |
|-----|---|
| 日 時 | 平成26年5月17日（土）午後1時～ |
| 場 所 | 矢本運動公園内 武道館 |
| 議 題 | 報告：「新しいまち」の名称等について
議題：1. 平成25年度事業報告、収支決算報告及び会計監査報告
2. 平成26年度事業計画案、収支予算案
3. 協議会規約一部変更について
4. 役員改選その他 |

～総会後に大交流会を開催します～

総会終了後、午後2時より、同じ場所（矢本運動公園武道館）で大交流会を開催します。新しいご近所さんに会いに、皆さんでお出かけください！

- ★ 琴・三味線・尺八演奏（樹良羅：きらら）
- ★ 屋台もあります。
餃子・フランクフルト・牛タンつくね・東松山の焼きとり

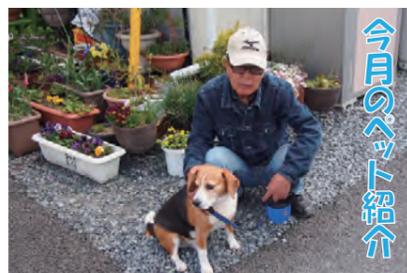
Q&A

Q：ハウスメーカーに「宅地の地耐力を調べるのに2～3ヶ月かかる」と言われていますが、一日も早く建てたいので、宅地の引渡しの前に調査に入ってもよいでしょうか？

A：原則として、引渡し前に地耐力の調査に入ることができませんが、危険性がないと判断できれば一定の条件のもとで、事前調査できる可能性があるかもしれません。引渡し時期がはっきりしたら、市の復興都市計画課に照会してみてください。なお、地耐力の調査自体には、それほど時間はかかりませんので、ハウスメーカーに詳しく確認してみてください。（事務局）

【編集後記】

「新しいまち」の名称が決まりました。次は、災害公営住宅の住戸位置を決める段階です。夏を目指して、住戸位置が決まれば…。少しずつ「新しいまち」のイメージが湧いてくるかと思えます。「まちづくり通信」も、できれば読者の皆さんの投稿を掲載していきたいと考えています。テーマは限定しませんので、原稿を事務局にお寄せください。（広報部会長 土門一枝）



川上由夫さんとトワ君

今日のペット紹介

皆様からのご意見、ご感想をおまちしております。【集団移転に関する何でも相談窓口】開設中
東矢本駅北地区まちづくり整備協議会
〒981-0503 宮城県東松島市矢本字町浦84番地 としまち研東松島事務所内（事務局：阿部久美子、青山秀明）
Tel：0225-98-5291 / fax：0225-98-5293 / E-mail：higashimatsushima@tmk-web.com

第16号 平成26年5月14日

東矢本駅北地区 まちづくり通信

発行 東矢本駅北地区まちづくり整備協議会 広報部会

目次

- まちの名称は「あおい」に・・・1面
- 災害公営住宅配置計画・・・2面
- 災害公営住宅第1期工事に着手・・・2面
- コミュニティ推進部会・準備会・・・3面
- アフガニスタン・カブール市視察・・・3面
- 第5回総会・大交流会のご案内・・・4面



5月の風にはためく
大曲浜の鯉のぼり

「新しいまち」の名称は「あおい」に！

～たくさんのご応募、ありがとうございました。～

「新しいまち」の名称案については、当初140点の応募をいただきましたが、その後、新たに決める名称が、「矢本」や「大曲」等と同じ大字として、今後、住所として使うことができることがはっきりしました。そこで、その旨を明示して追加募集を行ったところ、3月15日の締め切りまでに153点の追加応募をいただき、合計293点が集まりました。

3月25日に開催した第5回「新しいまち」の名称選考委員会では、293点から10点に絞り、協議会員とご家族、東矢本駅北地区に現在居住されている世帯の皆さまに投票をお願いして、選考委員会で最終案を決めることになりました。

投票は4月12日に締め切りでしたが、全部で368票の投票がありました。

第1位は「あおい」、第2位は「あゆみ野」、第3位は「結町」でしたが、無条件で「あおい」に決定せず、上位3つの名称案について、選考委員（当日出席14名）による決選投票（無記名）を行い、「あおい」が半数以上の票を得たことから、選考委員会としては、「新しいまち」の名称を「あおい」とすることに決定しました。

今後、東松島市に報告し、議会の承認を得て、「あおい」を大字名とする手続きを進めてもらうこととなります。

【応募された方が込めた「あおい」の意味・理由】東松島市のイメージ（海、空、田んぼ）を表し、かつ、住所表記時に、東松島市に続けても短くわかりやすいものとした。
〔例：東松島市あおい一丁目〕

アンケート結果を災害公営住宅配置計画に反映

去る4月7日時点で、東矢本駅北地区災害公営住宅の計画調整のためのアンケートが実施されました。その結果を踏まえて、市及びUR都市機構から災害公営住宅配置計画が提案され、5月2日の第11回災害公営住宅部会で検討を行いました。

第1期の計画は既に着工して変更できませんでしたが、第III期・第IV期では、アンケート結果を踏まえて、戸建住宅では平屋建が多くなっています。

また、第II期の集合住宅の1LDKタイプは、南側全面に和室を配置する案と南側に和室と洋室のリビングを並列する案を希望する方が、それぞれ半分ずつというアンケート結果でしたので、そのように計画を変更しています。



災害公営住宅（第1期）47戸建築工事に着手

災害公営住宅エリアの先行街区（第1期）である西側（藤野整形外科側）の戸建住宅・二戸一住宅の計47戸分の建築工事が始まりました。まだ基礎工事の段階ですが、今年11月の入居開始予定となっています。



(2)

コミュニティ推進部会・準備会

去る2月24日の第21回役員会で、役員会のもとに「コミュニティ推進部会」を設置することになり、第5回総会に議案として提案することになりました。

コミュニティ推進部会の役割は、「新しいまち」の「あおい地区自治会」の形態や役割などの案を検討し、アンケートやワークショップなどで協議会員の意見や要望を取りまとめ、さらに東矢本駅北地区に現在居住されて

いる世帯のご意見も伺い、協議会の総会（第6回臨時総会予定）に提案することになります。

4月25日に準備会を開催し、市民協働課から市が新たに進めている地区自治会制度に関する説明を受けました。

今後、災害公営住宅第1期の入居が始まる本年11月までにしっかりと取りまとめていくこととなります。

アフガニスタン・カブール市職員が視察にきました

4月3日、独立行政法人国際協力機構（JICA）関連の研修で、アフガニスタンのカブール市職員10名と、通訳1名、日本のJICA関係者4名が「住民主体の新しいまちづくり」を行っている東矢本駅北地区の視察にやってきました。

まず、大曲市民センターで、市生活再建支援課の千葉課長から映像を交えて被災状況の説明がありました。その後、バスに乗り込んで、大曲浜の慰霊塔にお参りし、被災した現場を見学、矢本運動公園仮設住宅経由で東矢本駅北地区の集団移転地を視察しました。

昼食は商店街にある“レストランばらだいす”でとりました。宗教上の理由で日本に来てから食事が大変だったようで、店主さんが、アフガニスタンの方が食べられる食材を事前に調べて作って下さったことを、大変喜んでおられました。

午後は、市民センターに戻り、小野会長から「東日本大震災と“新しいまち”づくり」、続いてとしまち研杉山理事長より「住民主体の“新しいまち”づくりの取り組み」の説明がされました。

震災により心が傷ついた方の心のケアや、高齢者への対応などの質問があり、小野会長より、お祭りやイベントをたくさん企画して、家に閉じこもって一人で悩まないように工夫していること、「大人が大人を元気にすることはできない。子どもを元気にしてその笑顔が大人を元気にする」などの話がありました。まちづくり通信についての質問では、事務局で原案を作成し、広報部会で議論して発行している手順と、費用は市からとしまち研への業務委託料で賄っていることが説明されました。

最後に、みんなで和やかな雰囲気のもと集合写真を撮り、お帰りになりました。



(3)